

機能	エンドユーザーの利点	会社としての利点
OpticStudio ファイルの取り込み	OpticStudio ファイルをネイティブな CAD パーツとして取り込み、光学系の形状の再設計に費やされていた時間を削減します。すべての光学情報を確認し、メカ系の設計をすぐに始めることができます。 複合レンズ、ブール ネイティブ、グリッド サグもサポートされています。	時間の削減、 ワークフローの効率化、 効率アップ
軸外し部品のノンシーケンシャルへの変換をサポート	グリッド サグ部品のサポートに伴い、有限の機材からなる軸外しレンズやミラーを含む光学系、ディセンタしたアパチャーの面などより複雑な非球面読み込むことができます。	設計の忠実性の維持
瞬時の光線フィルタ	瞬時に光線フィルタを描画するため、どのメカ部品が光学性能に影響を与えているのかを識別するのに役立ちます。設計プロセスの早期にメカ部品に変更を加えることができます。	エラーの早期発見および修正、 試作品の削減
OpticStudio からの出力ファイルの保存	CAD プラットフォームから OpticStudio へファイルを共有する際、設計の忠実性が維持されます。光学設計とメカ設計の両方を、情報を失うことなく共有することができます。	設計の忠実性の維持、 ワークフローの効率化
光学性能サマリー	メカ部品が光学性能にどの程度影響を与えているか可否形式で簡単に確認できます。確かな情報に基づいて設計における費用対性能のトレードオフの判断を行えます。	設計プロセスの初期段階で修正ができ、確かな情報に基づくトレードオフの判断が可能

機能	エンドユーザーの利点	会社としての利点
OpticStudio ファイルの更新	光学系とメカ系の両方を伴うアッセンブリでは、光学設計に変更が生じた際、光学系を消去して新しいものと差し替えることができます。システムを更新することで、光学設計に変更が生じた際にメカ設計にどのような変更が必要かを理解するのに役立ちます。	変更により早く対応
散乱プロファイルの適用	メカ部品の反射特性を正確に表現します。現実のモデル(実際の試作品)をより高い精度で表現する、光線追跡結果を取得することができます。	仮想試作で 変更することができる
作図ジオメトリ	有効径、曲率の中心、頂点、光軸といったデータにアクセスすることで、十分な情報を得たうえでメカ設計を決定することができます。必要な形状情報のすべてにひとつのファイルでアクセスが可能です。	確かな情報に基づく設計判断ができる
光線アニメーション	光源からオプトメカを通りディテクタに到達する光線のアニメーションを表示します。これにより、問題が発生する順にメカ部品を修正することができ、メカシステム全体における修正を削減することも可能です。	エラーの早期発見および修正
読み取り専用としての OpticStudio ファイルの取り込み	OpticStudio の設計ファイルを読み取り専用で取り込むことにより、光学系に変更が加えられるのを防ぎます。	設計の忠実性を維持
計算領域	公差解析の部品を除外することにより、特定の部品のみを一度で解析できるようになります。アッセンブリから部品を除外したり、特定の部品なしに性能を判断したりすることなく、より高速で光線追跡を実行することができます。	エラーの早期発見

機能	エンドユーザーの利点	会社としての利点
折り返しミラー ツール	メカ設計者がすでに作成されている光学縦列に折り返しミラーを追加し、空間的条件に対応することができます。CAD プラットフォーム内で折り返しミラーを追加することで、折り返しミラーの位置の定義に光学設計とメカ設計間を行き来する必要がなくなります。	変更があった際に光学・メカ設計者間での往復作業を削減
メカ部品を光学部品として作成	ライトパイプのような複雑な形状の光学部品を設計する際に、CAD のネイティブ機能を使って形状を作成し、光学部品に変換して光線追跡を行うことができます。使い慣れている CAD のツールを使うことで複雑な形状の光学部品をより素早く作成することができます。	時間の削減
パワー スルー プット	光学部品およびメカ部品で失うパワーを表示します。これにより、メカ部品または光学部品に対して修正が必要か判断することができます。	設計プロセスの早期に変更
メカ エッジの追加	レンズ周りにマウント用エッジとして使う材料を追加します。CAD プラットフォーム上で簡単にエッジを追加して光学部品のマウントを改善することができます。	光学・メカ設計者間での往復作業を削減
Creo パーツを伴う ZAR ファイルをインポート	Creo パーツを含む OpticStudio ファイルを Creo に読み込みます。部品の再配置や情報損失の心配をすることなく、あらかじめ設計されたものと同じ情報にアクセスすることができます。	ワークフローの効率化
OpticStudio のマルチコンフィグレーション ファイルを取り込む	マルチコンフィグレーションを含む OpticStudio ファイルを読み込みます。異なる設定でシステム性能を見ることができ、全ての設定で性能基準を満たすことができます。	ワークフローの効率化

機能	エンドユーザーの利点	会社としての利点
マルチコンフィグレーション ファイルで複数の光線追跡を実行	マルチコンフィグレーション ファイルを伴う光学設計に取り組む際、少ないクリックで複数の光線追跡を実行できます。	高速化
レンズの図面を生成	非球面および球面レンズの ISO 10110 図面を作成します。 ISO 10110 標準の図面を自動的に生成し、製造にむけた用意を万全にします。	ワークフローの効率化
公差情報の取り込みと表示	OpticStudio ファイルで定義されるパラメータや位置情報を含む光学的公差データにアクセスし、確かな情報に基づく設計判断ができます。	ワークフローの効率化
新機能ダイアログ ボックス	新機能が利用可能なソフトウェア ダウンロードを行う際に更新情報を表示します。	最新のアップデート
レポートの作成	PDF または DOCX ファイルを生成し、高いレベルの情報を必要とする同僚と簡単に情報共有できます。	共同作業の向上
面パワー	メカ部品の面に入射するパワーを表示します。特定の部品にどの位のパワーが入射するか見ることができ、オブジェクトが過度のエネルギーロスの原因になっているか判断できます。	時間の削減
カスタム部品の追加	カスタム光学部品を追加してシミュレーションを行い、素早い連携に向けて光学設計に対して変更を提案できます。	時間の削減、 ワークフローの効率化
カタログ部品の追加	より素早い部品配置と連携のために CAD プラットフォーム上で市販光学部品を追加できます。	時間の削減、 ワークフローの効率化